

京都府の地震活動

平成 29 年（2017） 4 月

第 30 卷 第 4 号

京都地方気象台

目 次

震央分布図、概況、断面図	・・・ 1～2
【地震一口メモ】気象庁が発表する地震情報	・・・ 3

『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

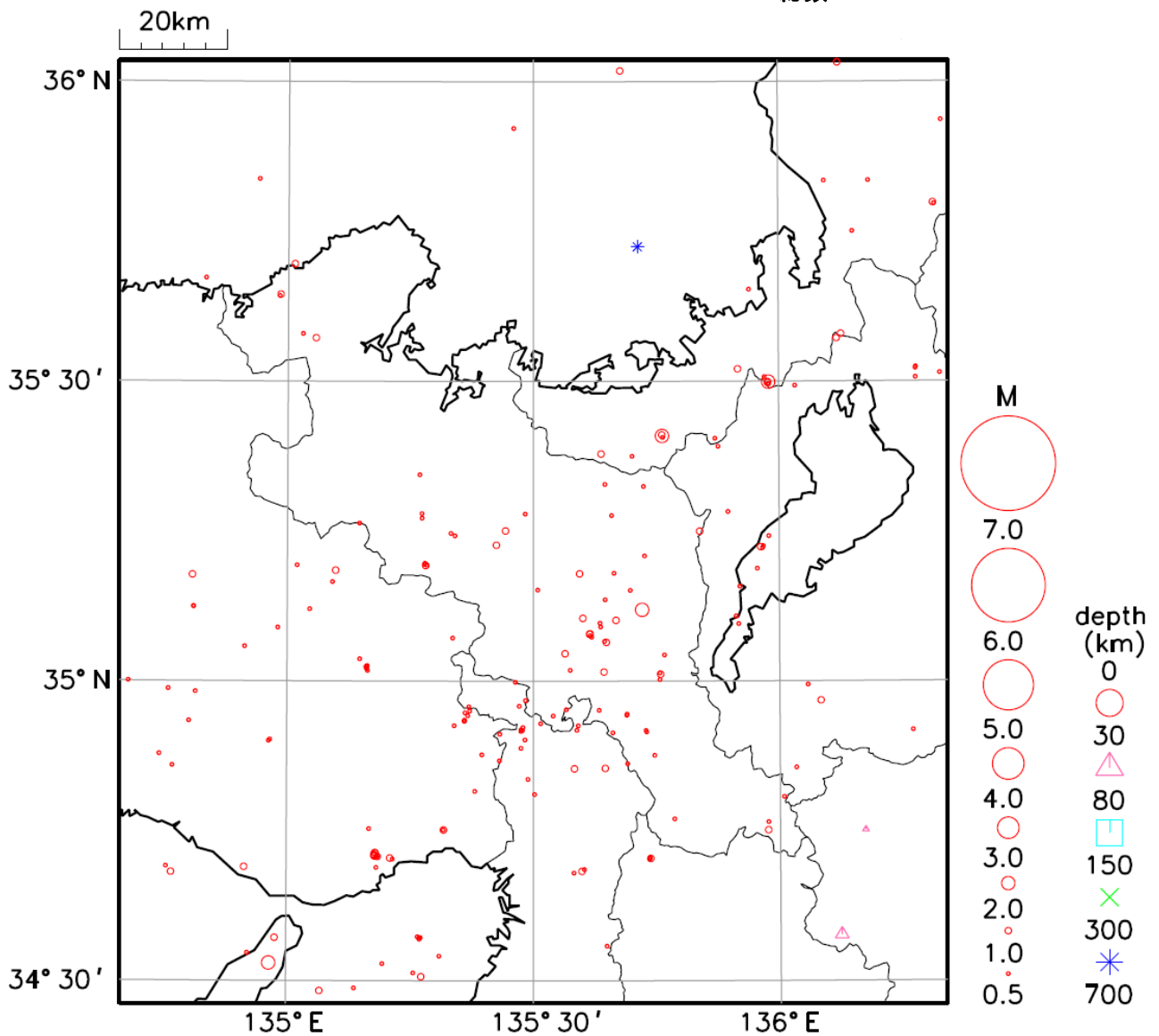
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～700km）

2017 04 01 00 : 00 - 2017 04 30 24 : 00

総数 : 202



・震度1以上を観測した地震には、日時、マグニチュード（M）及び京都府内で震度を観測した地震については、京都府内最大震度を付記。

概況

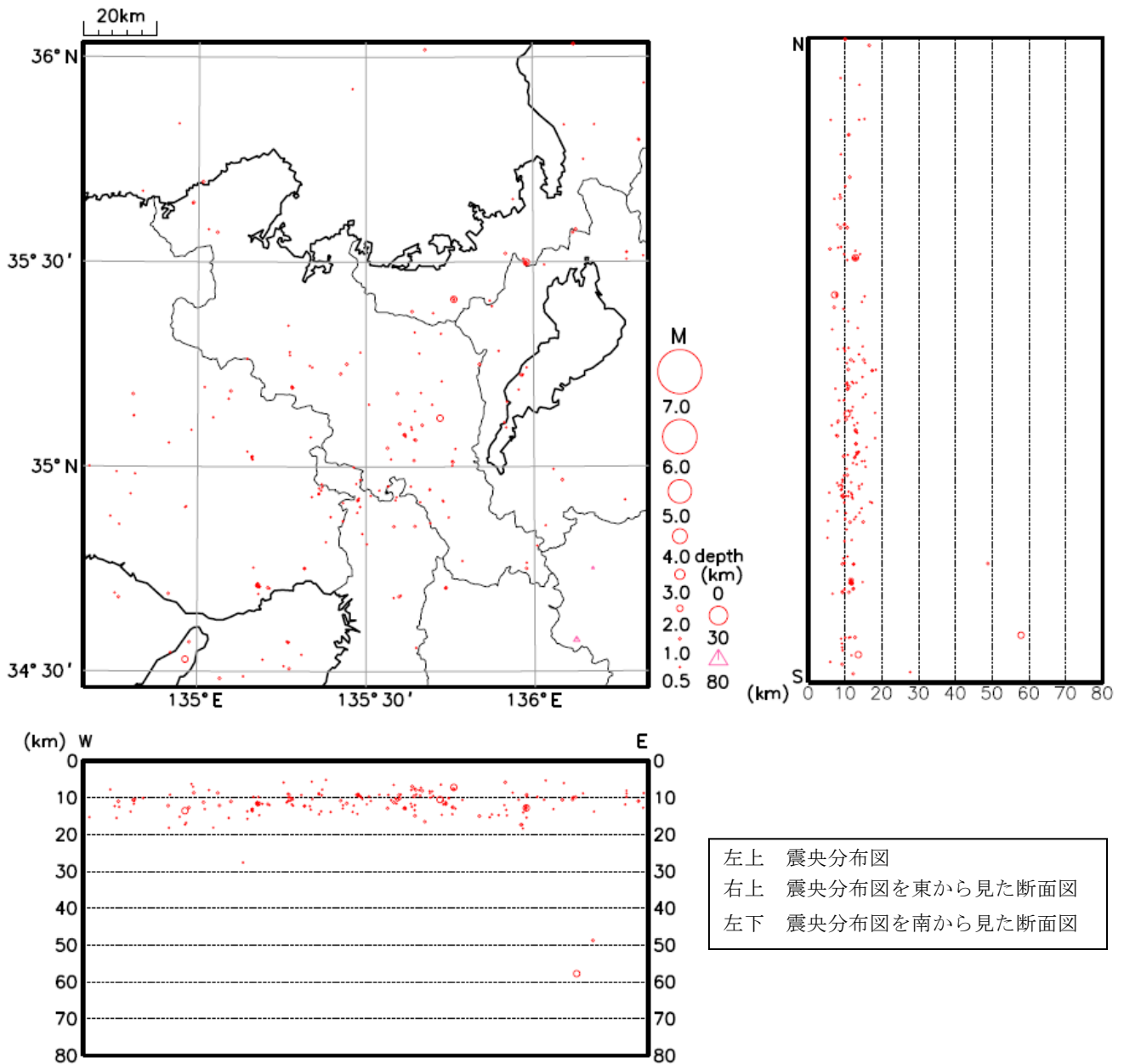
4月の震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は6回、震度1以上の揺れを観測した地震は0回でした（3月はそれぞれ14回、2回）。

京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震はありませんでした（3月は0回）。

震央分布図、断面図 (マグニチュード 0.5 以上、深さ 0~80km)

2017 04 01 00:00 - 2017 04 30 24:00

総数: 201



左上 震央分布図
 右上 震央分布図を東から見た断面図
 左下 震央分布図を南から見た断面図

深さ数 km~約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震 (地殻内地震)、深さ約 30km~約 60km に分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

【地震一口メモ】

気象庁が発表する地震情報

気象庁では、地震発生後その発生時刻や震源、マグニチュードを解析するとともに、観測された震度のデータを収集して、地震に関する情報を速やかに発表しています。防災対応が必要になるような大きな地震が発生した場合、その初動対応に迅速に活用できるよう、震度3以上を観測した地域名を「震度速報」として地震発生後約1分半で速報し、その後、市町村や各地点の震度など詳細な情報を発表していきます。震度の情報はテレビやラジオなどで報道されるほか、防災関係機関の初動対応の基準や災害応急対策の基準として活用されています。

震度速報や震源・震度に関する情報での使用される地域名は、京都府では2つに区分され、京都府北部、京都府南部となっています。

●地震情報の種類と発表基準と内容

地震情報の種類	発表基準	内容
震度速報	・震度3以上	地震発生約1分半後に、震度3以上を観測した地域名(全国を188地域に区分)と地震の揺れの発現時刻を速報。
震源に関する情報	・震度3以上 (津波警報・注意報を発表した場合は発表しない)	地震の発生場所(震源)やその規模(マグニチュード)を発表。 「津波の心配がない」または「若干の海面変動があるかもしれないが被害の心配はない」旨を付加。
震源・震度に関する情報	以下のいずれかを満たした場合 ・震度3以上 ・津波警報または注意報発表時 ・若干の海面変動が予想される場合 ・緊急地震速報(警報)を発表した場合	地震の発生場所(震源)やその規模(マグニチュード)、震度3以上の地域名と市町村名を発表。 震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その市町村名を発表。
各地の震度に関する情報	・震度1以上	震度1以上を観測した地点のほか、地震の発生場所(震源)やその規模(マグニチュード)を発表。 震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その地点名を発表。 ※地震が多発した場合には、震度3以上の地震についてのみ発表し、震度2以下の地震については、その発生回数を「地震情報(地震回数に関する情報)」で発表します。
遠地地震に関する情報	国外で発生した地震について以下のいずれかを満たした場合等 ・マグニチュード7.0以上 ・都市部など著しい被害が発生する可能性がある地域で規模の大きな地震を観測した場合	地震の発生時刻、発生場所(震源)やその規模(マグニチュード)を概ね30分以内に発表。 日本や国外への津波の影響についても記述して発表。
その他の情報	・顕著な地震の震源要素を更新した場合や地震が多発した場合など	顕著な地震の震源要素更新のお知らせや地震が多発した場合の震度1以上を観測した地震回数情報等を発表。
推計震度分布図	・震度5弱以上	観測した各地の震度データをもとに、1km四方ごとに推計した震度(震度4以上)を図情報として発表。